

平成26年5月の船舶事故・人身事故発生状況（速報）

1 船舶事故

- (1) 船舶事故は17件21隻（前年25件29隻）で、前年5月期と比べ8隻減少となり、死者・行方不明者は1人（前年2人）でした。
- (2) 今年5月までの船舶事故数は合計65件80隻（前年89件106隻）で前年同期と比べ26隻減少となっています。死者・行方不明者は10人（前年6人）で前年同期と比べ4名増加しています。
- (3) 21隻中11隻がプレジャーボートによる海難で、そのうちの6隻が5月上旬の連休中に発生しており、依然として増加傾向にあります。
海難種類別では、衝突が8隻と最も多く、次いで機関故障が5隻、乗揚が4隻となっています。
- (4) 5月29日、タンカー聖幸丸（998トン、8名乗組み）の爆発沈没事故が発生し、1名が死亡、4名が重傷を負う事故が発生しました。

2 マリンレジャーに伴う人身事故

- (1) マリンレジャーに伴う人身事故者数は9人（前年9人）で、死者・行方不明者4人（前年2人）はいずれも釣り中の事故で、3人はライフジャケットを着用していませんでした。
人身事故者9人を活動別に見ると、釣り中の事故が7人（前年4人）、プレジャーボートなどに乗船中の負傷が2人（前年0人）となっています。
- (2) 今年5月までのマリンレジャーに伴う人身事故者数は合計27人（前年43人）で16人減少となっています。死者・行方不明者は8人（前年8人）で、前年と同数となっています。